

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月30日

2次評価日（課長等） 30年3月30日

1 事業名	防災、災害対策事業	コード	91101
-------	-----------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 危機管理室	作成者 小林 隆志
--------	--------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政策	安全・安心な暮らしの確保	施策	危機・防災・減災対策の推進
		予算科目	防災、災害対策費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	防災・減災対策推進のため、根幹をなす住民一人ひとりの防災・減災意識を高揚するための事業や各種法令に基づく業務のほか、関係機関との連携や体制整備に関する業務		
目的	対象者	市民	
	意図	防災・減災対策の推進	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
1 岡谷市防災ガイド作成事業	防災ガイドの更新に向け、新たな施設整備や土砂災害特別警戒区域の変更、避難所等の状況変化に合わせた見直しに着手し、データ整備や情報整理を進めた。（平成31年度完成、全戸配布）		
2 地域連絡員の選任	各区に対し市職員2人を選任 計42人		
3 災害危険箇所の現地視察	4月27日 31行程49箇所（土石流災害特別警戒区域、浸水氾濫河川等） 諏訪地域振興局、諏訪建設事務所、岡谷警察署、諏訪広域消防本部、市関係課職員参加		
4 防災会議	5月26日 平成28年度防災対策及び災害対応報告、平成29年度防災対策事業計画、岡谷市地域防災計画、岡谷市水防計画の修正について審議を行った。		
5 出前講座等	(1) 出前講座 17回 779人（「我が家の地震対策」「災害クロスロード」など9メニュー） (2) こども防災教室 24回 890人（市内19の保育園及び幼稚園）		
6 岡谷市防災の日	7月19日の岡谷市防災の日に関連した事業 (1) 防災・減災関連図書コーナー 7月1日～27日 岡谷市立図書館 (2) 平成18年7月豪雨災害パネル展 7月19日～25日 レイクウォーク岡谷1階レイクコート (3) 非常食を食べる日の設定（7月19日：岡谷市防災の日） ・備蓄した非常食の賞味期限が切れていることのないよう、非常食を食べ補充する基準日として岡谷市防災の日に合わせて設定した。（7月19日にレイクウォークにて非常食の試食会を実施） (4) 危険溪流市民見学会 7月22日 参加者20人 DVD視聴、非常食試食、見学：川岸境沢川えん堤工事現場、湊小田井沢川えん堤、伝承之碑 (5) 職員研修 7月19日 塩竈市への災害応援派遣職員の報告会を実施した。 (6) 市民へのメッセージ ・市長メッセージ 7月19日 市長による防災・減災の啓発メッセージを防災行政無線にて放送 ・シルキーチャンネル放映 7月13日～19日 忘れまじ豪雨災害DVDの放映		
7 防災啓発共同事業	（諏訪広域連合及び諏訪6市町村共同の防災講演会） 7月22日 富士見町グリーンカルチャーセンター 約300人 演題：宮城県南三陸町復興のあゆみ 講師：佐藤 仁氏（宮城県南三陸町長）		
8 防災とボランティアパーク	1月13日～21日（20日メイン） 諏訪湖ハイツ (1) 災害パネル展、防災カルタ、非常食の試食、住宅耐震相談、防災関連グッズの展示販売、トン汁の炊き出し、地震体験車による地震体験等 (2) 防災研修会 「災害クロスロード」（講師：県職員）市自主防災組織連絡協議会との連携		
9 GISの防災業務への活用	岡谷市防災ガイドの閲覧整備		
10 メール配信@おかやへの登録勧奨	随時実施 平成29年度末登録件数：6,309件		
前年度の課題への対応	災害パネル展やイベントを民間の施設や出入りの多い施設で実施したことにより、多くの住民に防災・減災について考える機会を持っていただくことができた。 また、メール配信@おかやへの登録勧奨を随時行った。		

## 6 指標の達成状況

\* 活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 活動指標(指標名)	出前講座等開催回数			単位 回
実績値	42	37	41	
* 指標の説明	出前講座及び子ども防災教室の開催数			
② 成果指標(指標名)	出前講座等参加者数			単位 人
目標値	1,200	1,500	600	600
実績値	1,499	2,187	1,669	
達成度	124.9%	145.8%	278.2%	
* 指標の説明	出前講座及び子ども防災教室の開催数防災教室の参加者数			
* 目標値の設定方法の説明	出前講座回数20回×30人			

## 7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	1,439,208	2,801,120	3,436,384	4,731,000
経常経費	1,293,408	1,381,952	1,405,984	1,480,000
臨時的経費	145,800	1,419,168	2,030,400	3,251,000
* 臨時的経費の説明	岡谷市防災ガイド作成事業			
② 人件費	10,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.25	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	11,439,208	10,801,120	11,436,384	12,731,000
前年度比		94.4%	105.9%	111.3%
財源内訳				
一般財源	11,439,208	10,801,120	11,436,384	12,731,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	268,891	253,566	229,414	
前年度比		94.3%	90.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

## イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
長野県消防防災航空隊市町村負担金	件数	1	1	1
	金額	1,149,100	1,206,200	891,400
防災啓発共同事業負担金	件数	1	1	1
	金額	47,324	47,324	47,014
長尾県地震対策強化地域連絡協議会負担金	件数	1	1	1
	金額	12,500	12,500	12,500
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	1,208,924	1,266,024	950,914
	割合	84.00%	45.20%	27.67%

\* 行が足りない場合は追加してください

## ●事業の評価(CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価		* 有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。		有効性	標準
評価項目				はい	いいえ
①	この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。			1	
②	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。			1	
③	この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。			1	
④	この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比	76.3%	0
⑤	年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度	278.2%	1

### ●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール配信@おかやへの登録者の拡大</li> <li>・住民の防災・減災意識のさらなる高揚及び醸成（自助・互助・共助）</li> <li>・地域ぐるみでの対策</li> </ul>
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区長会、民生児童委員連絡協議会などの地域に根付いた活動をする団体等に登録勧奨の依頼を行う。また、出前講座やイベント開催時などのあらゆる機会においてメール配信@岡谷への登録勧奨を行う。</li> <li>・災害パネル展示やイベントは、住民が自然に集まる場所にて開催する。（レイクウォーク、諏訪湖ハイツでのイベント継続）</li> <li>・防災訓練等において、事業所や要配慮者施設を交えた地域での訓練の実施</li> </ul>
改善開始時期	平成30年4月

### ●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---